

令和6年2月14日

広島県公立中学校長会
会員の皆様

広島県公立中学校長会
会長 藤田 典生

広島県公立中学校長会教育ビジョンの一部読み替えについて（依頼）

平素より、県内の公立中学校の校長先生方には、「広島県公立中学校長会教育ビジョン」（県中教育ビジョン）に基づく取組を推進していただいておりますことに感謝申し上げます。

現在の県中教育ビジョンは、全日本中学校長会が令和2年5月に10年ぶりの改訂版となる「全日中新教育ビジョンー学校からの教育改革ー」を策定したことを踏まえ、新たな時代に対応した教育を推進するため、令和3年3月に改訂したものです。

しかし、御承知のように、令和4年12月に「生徒指導提要」が改訂され、生徒指導の基本的な考え方や取組の方向性等が再整理されました。このことを踏まえ、県中教育ビジョンの内容についても、次の通り、その内容の一部を読み替えて取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、現時点では「読み替え」とし、次期改訂（現行の県中教育ビジョン策定から5年後を目途）が行われる際に、その時点での状況を踏まえ変更することとします。

《読み替え箇所》

ページ	現行	読み替え後
7	4 生徒指導の充実 生徒の自己指導能力を育成するため、生徒指導の <u>三機能を生かした積極的</u> 生徒指導を行うとともに、	4 生徒指導の充実 生徒の自己指導能力を育成するため、生徒指導の <u>実践上の4つの視点に留意した</u> 生徒指導を行うとともに、
7	(1) 現状分析と課題 (18行目) <u>生徒一人一人が自己の存在感を実感しながら、共感的な人間関係を育み、自己決定の場を豊かにもつという生徒指導の三機能を生かす</u> とともに、	(1) 現状分析と課題 (18行目) <u>そのためには、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成という生徒指導の実践上の4つの視点に留意する</u> とともに、
7	(2) 取組の方向性 ①全ての教育活動において、生徒指導の <u>三機能を生かした</u> 取組を推進する。	(2) 取組の方向性 ①全ての教育活動において、生徒指導の <u>実践上の4つの視点に留意した</u> 取組を推進する。